

## 広島市土砂災害に係る状況調査結果について

H26. 8. 28 関西広域連合広域防災局

- 1 調査日 平成26年8月23日(土)
- 2 調査者 関西広域連合広域防災局 5名(兵庫県2名、大阪府1名、徳島県2名)
- 3 調査場所 広島県災害対策本部、政府非常災害現地災害対策本部(広島県庁内)  
広島市災害対策本部、広島市地域福祉課

### 4 被害状況(8月27日12時現在 広島市災害対策本部発表)

被害地区は、広島市の安佐北区、安佐南区。最も被害の大きい安佐南区八木で、広島駅から北へ20分程度、国道54号沿いの交通の便のよいところ。被害は局所的で、広島市中心部は被害なし。被災地でも周辺の店舗は営業している状況。

- (1) 人的被害 死亡70名、行方不明者18名、重軽傷者43名 計131名
- (2) 住家被害 全壊25戸、半壊40戸、一部損壊54戸  
床上浸水71戸、床下浸水182戸 計372戸
- (3) 避難所等 25カ所 601世帯 1,320名

### 5 調査概要

#### (1) 人命救助

- ・自衛隊等2,100名を超える態勢で救命救急活動を最優先で実施、行方不明者の確定作業を急ぐ。
- ・降雨もあり、二次災害のないよう土石流センサーを設置するなど、TEC-FORCEと連携。

#### (2) 被災者支援

- ・避難者数は、日々変動し、天候によって大幅に増減する。
- ・避難所の運営は、市の区役所、保健所に対応しており、支援要員も充足している。
- ・物資は、各地、民間企業等からの支援もあり充足している。
- ・避難所毎に市民病院の医師を派遣・常駐。心のケアは、3避難所にDPATを3チーム派遣。高齢者には、保健師・リハビリ専門家のチームによる健康指導。
- ・被災者支援は、避難所毎にワンストップ相談窓口を設置。支援制度の一覧表を配布。
- ・入浴施設の無料開放、自衛隊による入浴を開始。
- ・県営、市営住宅の無償提供(原則6ヶ月)のチラシを配布(今後、国の宿舍、URの利用も検討)。一時受け入れ住宅等は、県で対応する。

#### (3) 災害ボランティア

- ・ボランティア活動は、安全の確保された地域で、県内のみから募集。

#### (4) 他の自治体等からの支援

- ・広島市から広島県に対して特に支援要請はなし。広島県は、広島市災害対策本部(消

防局に設置)に危機管理、福祉、土木などリエゾン4名を派遣。

- 中国5県災害時応援協定のカウンターパート県である山口県が、広島県災害対策本部に職員を常駐させ、情報収集を行っている。
- 21大都市災害時相互応援協定も発動されていない。緊急消防援助隊以外では、岡山市との間で水道支援の調整が行われたが、復旧進捗により実施されず。
- 国は、政府非常災害現地対策本部を広島県庁内に設置。災害救助法や廃棄物の専門家を派遣。

## 6 今後の対応

広域連合としては、当面、中国5県災害時応援協定のカウンターパート県である山口県(広島県災害対策本部に常駐)と連携を図りながら、支援等の情報収集を行う。